

### 東日本大震災を教訓に

あの3月11日の東日本大震災から1年。校舎が大きく揺れ、窓ガラスがガタガタと震えた体験は、今でも鮮明に思い出すほど強烈なものでした。あの震災を記憶から風化させないよう、今年の避難訓練では、全児童が起震車体験を実施しました。そして震度7の揺れの怖さと、それに対する対処の方法を学びました。

大きな揺れに対応するためには、机の下にもぐるだけでなく、机の足を、肘を曲げずに突っ張った状態でしっかり持つことが大切だそうです。肘が曲がってしまうと、机に頭をぶついたり、机ごと他の物に衝突した際、大きな衝撃を受けることもある、ということがわかりました。

今後も、さまざまな体験や学習を通して、「自分の身は自分で守る」という防災意識を高く持つ児童を育てていきたいと考えています。



保谷第一小学校

起震車で地震の揺れを全学年児童が体験

### 防災への取組

昨年3月11日の東日本大震災以降、登下校や校内での教室・体育館移動の際、防災頭巾の携帯を実施してきました。いつ地震が来ても自分の身を自分で守ることができる体制づくりです。最近では地震も比較的少なくなってきたため、校内移動時のみにしていますが、教員が指示しなくても防災頭巾を持って移動する習慣が身に付きました。

また、親父の会・運協・PTAと協力した飯ごう炊さんの活動のねらいを炊き出し体験としました。実際に災害が起きたときに実行すべきことを一つ学ぶことができました。子どもたちは「役に立ちたい」と意欲的でした。

中原小学校



訓練も緊張感をもち、真剣です。

### 地域の方と共に作る「地域安全マップ」

本校では、地域の方の校内安全見守り、保護者の方の校外安全見守り等、子どもたちの安全について地域が一丸となって取り組んでくれています。そして、自分たちでも安全について考えていくため、3年生が地域安全マップを作りました。市の危機管理室、PTA、地域の方々と一緒に「入りやすく、見えにくい」という危険な場所等を調べ模造紙にまとめ発表することができました。

3つの地区に分かれて、15班で作り上げた地図は、校内に掲示し、全校児童の安全への意識を高めることに役立ちました。

栄小学校



地域の方や保護者の方と一緒に調べました。

### 防災教室

本校では、「東日本大震災から学ぶ」をテーマに避難訓練の見直し等、あらゆる機会を通じて防災教育に努めています。そのメインとなるのが、西東京市危機管理室が行っている防災教育事業です。本年度は、3年生が2学期に、6年生が3学期に参加しました。いずれも、市の防災センターで、危機管理室の方や消防署・消防団の方からお話を伺い、体験学習を行いました。

子どもたちは、この学習を通して防災に対する関心が高まるとともに、「自分に何ができるか。」を主体的に考える態度が養われました。



東小学校

三角巾を用いた救命講習

### みんなでアクション



### 吹奏楽の演奏と共にある音楽活動

本校は、音楽活動の充実が学校自慢の一つです。本年度の音楽会も、学校内外の皆様大好評でした。本校では、音楽会のみならずさまざまな学校生活の中に音楽があります。各学年が演奏や合唱を発表する「音楽集会」や、始(終)業式、運動会等の各行事、音楽児童集会などです。これらの音楽活動に、548名の児童がいろいろな形で参加して碧山小学校の充実した時間を奏でています。

これらの活動を支え盛り上げているのが、本校の吹奏楽部です。校歌斉唱、児童行進、全校合唱のとき、吹奏楽部は、生演奏で伴奏しています。また、年に3回のモーニングコンサートは、全校児童・教員に、豊かで幸せな気持ちを共有させてくれます。さらに、年2回の「校内定期演奏会」、さまざまな地域行事では、児童だけでなく保護者や地域の方々にすてきな演奏を披露し、皆の心を潤してくれています。地域の保谷高校や早稲田大学とも吹奏楽を通して交流しています。

これからも、全校児童・保護者・地域が、共に幸せを実感できる音楽活動を全校で行っていききたいと思います。

碧山小学校



音楽集会：吹奏楽の伴奏で全校合唱

### 1年生下校見守り活動

「明日も元気に登校しましょう。さようなら。」と挨拶して、1年生は集団で下校します。本校では、学校経営の基本方針の一つに安心できる落ち着いた学校づくりがあり、毎日1年生の下校見守り活動を展開しています。この見守り活動には、保護者や防犯協会の方々の協力を得て取り組んでいます。

子どもたちは日頃お世話になっている防犯協会の方々に、感謝の気持ちを表した手紙を渡し、一緒に給食の会食もしました。

谷戸第二小学校の1年生は、地域や保護者の方々から温かく見守られながら、安全で楽しい学校生活を送っています。

谷戸第二小学校



防犯協会の方々と給食の会食

### 「よいところをもっとよく」

本校では、「よいところをもっとよく」という学校標語を掲げ、児童一人ひとりが、自分や友達を見つめそのよさをさらに伸ばしていくことができるよう、肯定的評価感をもった教育活動を展開しています。

本年度は、特に、心に響く道徳授業を中心に、自己肯定感をもち、自分を大切にするとともに、友達にもやさしくできる心豊かな児童の育成を目指して、さまざまな実践を積み上げました。

向台小学校



### あいさつ運動

本校では、毎日6年生によるあいさつ運動を行っています。朝、正門の前に立ち、登校する児童とともに、その通りを通るすべての人に「おはようございます。」のあいさつをしています。今では、当番以外の日にも友達同士誘い合って参加する姿も見られます。

また、2学期には、代表委員会が全校に呼びかけ、この通りに「ニコニコあいさつ通り」という名前をつけました。さらには、通りの名前と四季の花や昆虫のイラストを描いた立て看板を製作し、設置しました。学校はもとより、自分たちの住む街がさらにあいさつと笑顔にあふれ、心が通い合う温かい環境になっていくよう、児童と共に教職員一同がんばっていきます。

保谷第二小学校



正門前の「ニコニコあいさつ通り」で、あいさつ運動を行う6年生